

第5回 新宿区在宅緩和ケア 事例検討会

当番病院 慶應義塾大学病院

在宅でのがん緩和ケアを進めていくには個々の事例において病院のスタッフと在宅のスタッフが顔を合わせて振り返りを行い、それを積み重ねていくことが必要となります。

区西部緩和ケア連携推進事業において新宿区医師会では、在宅で緩和ケアを行った方の事例を通じて在宅緩和ケアを病院と在宅の医療介護スタッフが一緒に考えていく会を始めています。ご興味のある方はぜひご参加下さい。

平成31年2月20日(水)19時～20時

慶應義塾大学病院 3号館南棟1階ラウンジ

総合司会：慶應義塾大学病院 医師 橋口さおり

テーマ：

**がんの標準治療終了後に代替療法を強く希望した患者・
家族に対して、病院と地域が連携しながら対応した事例**

慶應義塾大学病院：

産婦人科医師 片岡史夫

医療連携推進部 緩和ケアチーム看護師 田中康代

新宿ヒロクリニック：

医師 兼村俊範

訪問看護ステーション看護師 生天目裕子

コメンテーター：コンフォガーデンクリニック医師 木下朋雄

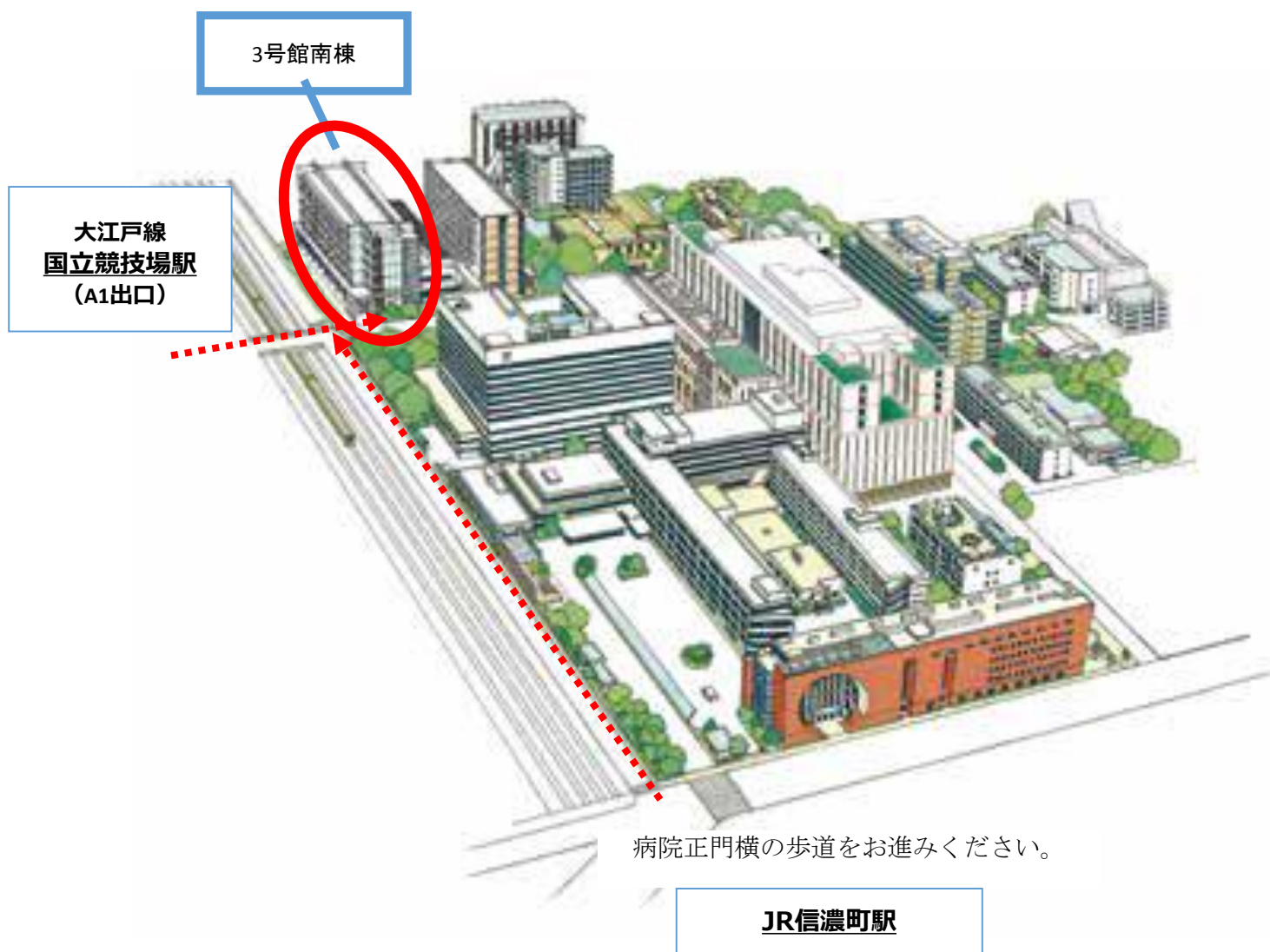
慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター

ジェネラルマネージャー 近藤咲子

主催：新宿区医師会、新宿区医師会在宅医会、慶應義塾大学病院

会場案内

開催場所: 慶應義塾大学信濃町キャンパス 3号館(南棟)1階



【問い合わせ先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学病院 緩和ケアチーム室

TEL: 03-3353-1211 内線 61616 61617